



さいたま暮らしの情報誌
Information for Living in Saitama City
Folleto de Información de Vida en Saitama
No. 53 (SEP. 2016)

さいたま市を食べよう！
Home-grown in Saitama City!
¡Comamos los productos agrícolas de la Ciudad de Saitama!

そろそろ秋！みのりの季節だね。

さいたま市でとれる農産物には、どんな物があるのかしら。

Autumn is coming-
harvest season!

I wonder what kind of
produce is harvested
here in Saitama City?



Ya estamos en otoño, la
época de cosecha.
¿Qué productos agrícolas
hay en la ciudad de
Saitama?

はっこうもと
【発行元】

こうえきしゃだんほうじん

かんこうこくさいきょうかい

こくさいこうりゅう

公益社団法人さいたま観光国際協会 (STIB) 国際交流センター (IEC)

ばしよ

しうらわくひがしたかさごちよう

かい

うらわえきひがしぐち

うらわ

うえ

場所：さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9階 (JR浦和駅東口 浦和パルコ上)

【Published】 The Saitama Tourism and International Relations Bureau (STIB),
International Exchange Center (IEC)

【Place】 Comunale F9 (JR Urawa Stn East Exit, above Parco), Higashi Takasago-cho 11-1, Urawa-ku, Saitama City

【Publicado por】 Buró para el Turismo y las Relaciones Internacionales de Saitama (STIB)
Centro de Intercambio Internacional

【Domicilio】 Piso 9 de Comunale, 11.1 Higashi-Takasago-cho, Urawa-ku, Saitama

TEL : 048-813-8500

FAX : 048-887-1505

E-mail : iec@stib.jp

URL :

<http://www.stib.jp/kokusai>



なに し おも のうさんぶつ 何がとれるの？ - さいたま市の主な農産物

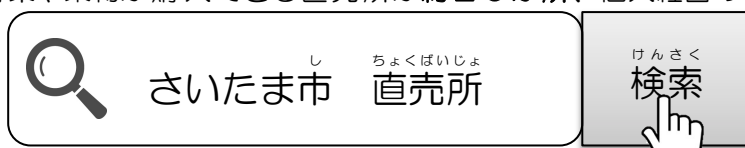
さいたま市では、お米をはじめ、さつまいも、じゃがいも、きゃべつ、ブロッコリー、こまつな、大根、にんじん、ねぎ、きゅうり、とまと、なす、いちご、なし、ぶどうなど、私たちが日常よく食べる野菜や果物がたくさんつくられています。中でも、こまつな、さつまいもの生産量は県内でもトップクラスです。

また、シクラメンやパンジーなどの花や、植木の生産も盛んです。



か ちよくばいじょ こじんちよくばいじょ どこで買えるの？ - 直売所・個人直売所

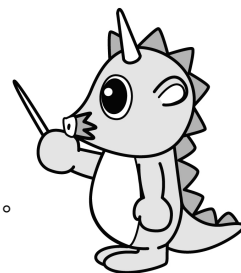
市内には、新鮮な野菜や果物が購入できる直売所が約20か所、個人経営のものもたくさんあります。



インターネットで上記の検索ワードを入れ、あなたの身近な直売所を探してみましょう。

他にも収穫を楽しめる観光農園や、農作業を楽しめる体験農園も多くあります。

さいたま市が発行している「農情報ガイドブック（トレトリ）」でも、詳しい情報が見られます。



し し とくさん やさい 知っていますか？ - さいたま市特産の野菜

さつまいもの女王「紅赤」…皮が鮮やかな赤紫色でおいしいさつまいも。栽培が難しいため、一時は絶滅の危機にありました。現在は「さいたま市紅赤研究会」を中心に栽培されています。

ユニークな食材「くawaii」…長い芽が出ることが「めでたい」を連想させ、縁起物として、お正月料理やおめでたい席に欠かせない食材とされています。他にも、クッキー、チップス、アイスクリームなどの加工品も多くあります。

ヨーロッパが原産「チコリー」…約30年前から、市内の一部農家で栽培されています。旬の1～4月にとれるさいたま市産のチコリーは、市場やレストランなどで高い評価を得ています。



し のうぎょう ちさんちしょう おうえん さいたま市の農業 - 「地産地消」で応援しよう！

さいたま市の農業人口は約1万人で、4000戸余りの農家があります。しかし、農業人口の減少、高齢化、後継者不足などの課題をかかえています。

田んぼや畑の緑は心をいやすだけでなく、洪水を防ぎ、急激な温度変化を和らげるなど、食糧生産以外にも多くの働きをしています。地元で生産された農産物を、地元市民が購入し消費する「地産地消」は、流通に伴うCO2削減にも効果があります。

さいたま市でとれた新鮮で安心・安全な野菜や果物をたくさん食べて、さいたま市の農業を応援していきましょう。